

平成27年第6回(9月)

西原町議会定例会

一般質問通告

質問日	質問議員		
9月15日(火) 4人	① 呉屋 悟	② 上里 善清	③ 与那嶺 義雄
	④ 宮里 芳男		
9月16日(水) 5人	⑤ 与儀 清	⑥ 宮里 洋史	⑦ 仲松 勤
	⑧ 大城 純孝	⑨ 真栄城 哲	
9月17日(木) 4人	⑩ 大城 誠一	⑪ 大城 好弘	⑫ 喜納 昌盛
	⑬ 伊計 裕子		
9月18日(金) 4人	⑭ 前里 光信	⑮ 伊波 時男	⑯ 長浜 ひろみ
	⑰ 屋比久 満		

# 一般質問通告内容（平成27年第6回定例会）

質問者	呉屋 悟 議員	質問の相手
1. 町政運営	<p>(1) 大型MICE施設運営の方向性</p> <p>ア. 去る7月16日に「MICEフォーラム国際観光都市への挑戦」がさわふじ未来ホールで開かれた。MICEのもつ経済効果及び魅力を示唆した貴重な講演会だった。リードエグジビジョンジャパン常務の田中嘉一氏の基調講演では、「展示会を中心にした展示会都市沖縄をイメージすべき。沖縄は観光都市として吸引力があるので、ビジネスマンが集結する大交易都市を目指すべき。必要なのは、会場規模。2万㎡では小さい、将来的には10万㎡に増設すべき。MICE施設ではなく大型展示場と呼んでもらいたい」など、具体的かつ刺激的な方向性が提言された。まさに起爆剤、本町の受け止め方と対応は。</p> <p>イ. 去る8月13日総務財政常任委員会の所管事務調査に同行し、同施設を所管する沖縄県観光振興課との情報交換を行った。</p> <p>対応した同課副参事糸数勝氏から経緯や課題等の説明後の質疑で、「大型MICE施設は西高東低のこれまでの資本整備計画を打開することが大きく期待されている。しかし、県の都市整備計画等が基本にあって西原町も都市整備計画等をその計画と調整していく状況である。県としてどのように考えているのか」と質問をすると、「まだ方向性は決まっていないが、必要性があれば当然見直しをしていくことになる」と答えるに留まったが、県に対して、本町の積極的な提案が不可欠であると思うがどうか。</p> <p>ウ. 産業課及び都市整備課は業務対応で人事を振り分けるのは厳しい。大型MICE施設設備に向けた人員態勢は大丈夫か。</p>	町 長

## (2) 表彰条例の見直し

6月定例会で取り上げた際は、政治家である町長及び議員の表彰基準の低さを指摘し、引き上げるように提案した。ところが考えてみると、町長及び議員は「西原町を良くするために、町民の福祉向上のために一生懸命頑張る！」ことを町民と約束し、選挙戦を勝ち抜いてこの地位が与えられている。しかし昨今、「選挙の時しか顔が見えない」など、議員に対する町民の眼は厳しいものがあり、議会改革が強く求められている。本町議会も議会活性化調査特別委員会を立ち上げ、議会改革及び開かれた議会とは何かを模索検討中である。

議員は4期務めれば、全国町村議会議長会から町村議会議員として表彰されることになる。重複した表彰を受けることは、名誉職的に見られ、昨今の政治情勢からすると、とても町民から受け入れられるものではない。

政治家である町長及び議員は、表彰条例から削除すべきだ。政治家の功労は、本会議場あるいは町制施行記念式典等、別の形で十分可能だ。

(3) 児童生徒の県外派遣補助金の順位による補助率の見直しを2014年9月議会でも取り上げたが、成績の順位で補助率が違うのは、保護者の負担軽減という同補助金の趣旨ではないと指摘し、同補助金交付要綱第5条関係別表（優勝＝100%、準優勝＝80%、3位＝70%）を見直し、同率補助すべきと提案した。補助率の見直しはできないのか。

教育委員長

## (4) 空手競技用マット購入について

沖縄発祥の空手の普及発展を求める声も大きい。これは、青少年の健全育成及びスポーツ振興にもつながる。実際、去る6月に行われた第20回中頭地区中体連空手競技大会で西原中学校が男子総合優勝、女子総合準優勝という素晴らしい結果を残した。成績報告では町三役が対応し、その栄誉を称えた。空手競技用マットを購入すれば、中部の大会も誘致でき、さらなるスポーツ振興及び交流事業につながると考える。空手競技用マット購入はできないのか。

教育委員長



<p>3. 防災施設について</p>	<p>地域コミュニティの中心的な役割を果たしている自治会公民館は大変重要な施設であり、地域にとってはなくてはならない施設だと思います。私の地域、兼久公民館は築48年が経ち、コンクリートの剥離等老朽化が進み危険な状況になっております。一時的な応急補修では根本的な問題解決にならないと思います。自治会の建設資金捻出努力は欠かせませんが、行政のバックアップも必要だと思いますが、以下の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 兼久地域は海拔2～3M地域であり防災施設として建設するため、一括交付金の予算確保はできないかお伺いします。</p>	<p>町長</p>
<p>4. 地方創生について</p>	<p>我が国は、少子高齢化が進み活力のない国になるのではないかと危惧されており、今回の創生法において、東京への一極集中を是正し、地域で住みよい環境をつくり、活力ある日本社会を維持していくために、「まち・ひと・しごと創生に施策を計画的に実施する」とあります。西原町におきましても総合戦略を策定する必要がありますが、今後の取り組みをお伺いします。</p>	<p>町長</p>
<p>5. 教育行政について</p>	<p>今年は戦後70年の節目にあたり、改めて戦争の愚かさ、人間の浅はかさを痛感しております。去る7月に町公民館主催による西原町戦跡めぐりに参加し戦跡が雑草や木々でうっそうとし荒れ果てていることに愕然としました。戦争体験者の高齢化で子ども達への平和教育の継承が年々厳しくなる現状を考えると、目に見える戦跡の保護も重要だと思いますが教育長の見解をお伺いします。視察して感じた3点をお聞きします。</p> <p>(1) 戦跡壕等への通路の整備</p> <p>(2) 各戦跡の説明版の設置</p> <p>(3) 説明版の消えた文字の修復</p>	<p>教育委員長</p>

質問者	与那嶺 義雄 議員	質問の相手
<p>1. 地域の共同性＝コミュニティーの力をどう街づくりに活用するのか</p>	<p>かつてはどの地方・地域においても人々のつながりは強固で、相互扶助の精神に基づき暮らしや地域づくりに関わるのが当然視されてきた。それは、人々がその土地の風土・歴史や文化と一体化した中で生きてきたことに由来する。しかしながら、明治以来の近代化や戦後の社会経済的な大きな変化の中で、人々が自分の住む土地の歴史と文化、伝統から切り離され、地域の共同性＝コミュニティーの力が逡減する時代を今私たちは生きている。</p> <p>格差社会や貧困の問題が深刻化する中で、子育てや教育の問題、子供たちの健全な育ち、高齢者の福祉など問題は山積している。これらの課題解決に対処するために、私は新たな地域の共同性の創造が不可欠だと考える。その中で、人々のつながり・絆を豊かにすることが、ともに困難に耐え明るい未来を切り開く力をも獲得することができる。そこで、お聞きする。</p> <p>(1) 地域が元気であれば西原町も元気で活性化する。地域の共同性＝コミュニティーの力をどう町づくりに位置付けるか、基本的な考え方をお聞きする。</p> <p>(2) 西原町の全体の自治会加入率（世帯ベース）はどの程度なのか。</p> <p>(3) 地域の文化や歴史は共同性を育む土壌である。町内各地域の字史・誌編纂への行政の積極的な支援と各自治会を紹介するパンフレットの作成を提案する。</p>	町長
<p>2. 町民の生活困窮・暮らしの実態調査について</p>	<p>私はこれまで過去3回同様な質問をした。町長の答弁は、「雇用や暮らしの問題は県全体の問題。調査は施策に反映させてこそ意味があり、難しい」とのことであった。しかし、依然として県内の雇用や県民所得の状況を勘案すれば、ひとり親世帯や若者の働き方の問題、高齢者の暮らしは厳しいものがあると言わざるを得ない。</p> <p>(1) 県は貧困の問題に対し具体的な取り組みを始めた。町も関連機関・団体が集い、既存のデータを突き合わせ「町民の生活困窮・暮らしの実態」の概観を把握すべきではないか。</p>	町長

<p>3. 今後の区画整理事業（組合方式）と執行体制について</p>	<p>(2) 国は「子どもの貧困対策法」を策定した。それを受けて町はどのような施策が可能か。</p> <p>MICE の西原・与那原地区への展開を待つまでもなく、沖縄都市モノレール浦西駅関連地区や役場庁舎周辺など、今後の街づくりを考えると同時並行的な区画整理事業が不可欠。組合団体営方式の整備であれば、これまで町も初めての経験であり、なおさら執行体制の整備・強化が必要だといえる。</p> <p>(1) これまでも、いくつかの地区で組合方式の立ち上げを試みたがうまくいかなかったと聞く。その原因はどこにあったのか。</p> <p>(2) 同時並行的な整備の必要性と具体的な執行体制の整備・強化についてお聞きする。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 直売所等複合施設の整備について</p>	<p>同複合施設については3 1 0 0 万円余の予算で実施設計が委託されるようだが、直売所や飲食カフェ、体験農場や観光案内所、資料館等の管理運営面での相手先との調整に関して説明を求める。</p>	<p>町 長</p>

質問者	宮 里 芳 男 議 員	質問の相手
1. 環境整備について	<p>(1) 長期間放置されている空き地及び空き家について伺います。</p> <p>ア. 本町の空き地及び空き家の実態調査状況。</p> <p>イ. 空き地及び空き家の件数。</p> <p>ウ. 所有者への行政指導はどの様にされているか。</p> <p>(2) 坂田ハイツ自治会会館に隣接する空き地（翁長 472 番地 7）が何十年も放置され、荒れ放題で近隣住民が大変不安を募らせている状態が続いている。</p> <p>昨年 9 月（平成 26 年）定例会でも質問しましたが、一向に改善される気配が感じられない状況です。</p> <p>地主は昨年 5 月により入院し、退院後に対応する。又、協力願書を手渡して猶予期間を与えているとの事でしたが、現在でも雑草除去作業等が行われていません。</p> <p>ア. 地主との話し合いは昨年 5 月以降何回行われたか。</p> <p>イ. 話し合い交渉の結果はどの様になったのか。</p> <p>ウ. 全く改善されてないのは何故か。</p>	町 長



2. 道路行政について	<p>県道浦添西原線の整備事業及び立退きについて</p> <p>(1) 現在の工事進捗状況及び工事完成予定を伺います。</p> <p>(2) 当該整備事業に伴い、坂田ハイツの一部は分断されるが住民への説明会を持つべきではないか。</p> <p>(3) 立退きに該当する坂田ハイツの13所帯の立退きの時期は。最終立退き時期は何年度か。</p>	町 長
3. 防災・防犯について	<p>防犯カメラの設置について</p> <p>(1) 町内の公共施設（学校、幼稚園、保育園、図書館、体育館、公民館等）に防犯カメラが何台設置されているか。</p> <p>(2) 今後増設の計画案は。</p>	町 長
4. 教育行政について	<p>本町ではMICEの誘致が決まり、国内外、特に国外から来客が増えると思込まれる。今後グローバル人材の育成が重要な課題と考える。</p> <p>(1) 小学校の英語教育は賛否があると思うが、本町の見解を伺います。</p> <p>(2) 県内小学校で英語教育を導入している学校を伺います。</p> <p>(3) 県内では、外国人講師に依る幼児英語教育を取り入れている幼稚園があると聞きます。本町の幼稚園において英語教育取り組みは出来ないか。</p>	教育委員長

質 問 者	与 儀 清 議 員	質問の相手
1. 町の人口問題について	<p>8月10日、2010年の国勢調査を基に2060年の沖縄県の将来推計人口が発表された。我西原町は△3,029人(△8.7%)の31,737人。隣の町村はというと、与那原町が+2,025人(+12.4%)18,343人。中城村が+6,674人(+37.7%)18,343人である。南風原町も+2,865人(+8.1%)である。これは大変深刻な問題だと思うのだが、その原因と対策をお聞きしたい。</p>	町 長

<p>2. 住環境整備、道路行政について</p>	<p>(1) 最近町内の車道、歩道の雑草、横断歩道などの色おちなどが目立つのだが、そのチェック体制はどうなっているのか。また、草刈りなどの計画を問う。</p> <p>(2) 西原東小学校の裏門側、小那覇川にフタ、もしくは柵を設置すべきではないか。小橋川区民からも「大雨の時など濁流が道の淵まできて、大変危惧している」との事である。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 保育行政について</p>	<p>(1) 子育て支援新制度になって半年たったがどうか。変化は。</p> <p>(2) 9月現在の待機児童数は。</p> <p>(3) 西原南幼稚園の30分延長の評価は。また、来年からは他の3園でも実施可能か。土曜日は。</p> <p>(4) 小規模保育園、既存の保育園の分園、認可保育園の1園創設、愛和保育園の建て替えの進捗状況は。</p> <p>(5) 保育料が年度途中から変更されるのは何故か。</p> <p>(6) 来年度無認可から認可はあるのか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>教育委員長</p>
<p>4. 福祉について</p>	<p>民生委員児童委員の定数と現在の人数は。</p>	<p>町 長</p>
<p>5. 住民サービスの対応について</p>	<p>町関連の2台の中型バスの利用率と利用条件は。</p>	<p>教育委員長</p>
<p>6. 中部南部地区火葬場・斎場建設問題について</p>	<p>事業の進捗状況と今後の見通しを問う。</p>	<p>町 長</p>

1 MICE活かした町づくり

(1) 兵庫県加古川市推進されているウェルネス都市について。「加古川市では、市民の健康志向の高まりと明るく健全な社会環境づくりが求められる中、市民のウェルネスライフを積極的に支援していくため、平成 12 年 6 月 8 日に「ウェルネス都市宣言」を行いました。

「ウェルネス」とは、単に運動や栄養、休養だけでなく、幅広く生きがい、人間関係、生活環境などの要素をバランスよく保ち、一人ひとりがそれぞれの状況の中で、よりすばらしい生き方や、より充実した生活があることに気づき、それに向けて行動することです。

いいかえれば、すべての市民が、良好な環境のもとで、いきいきと毎日を過ごすことです。

そこで、加古川市では、市民のだれもがこのまちに住み、生きる喜びを感じることができるよう「ひと」「まち」「自然」が調和した「ウェルネス都市 加古川」の実現をめざしていきます。」とある。私は、これからの西原町は、加古川市のように住民がいきいきと毎日を過ごしていける方向に向かうべきだと考えている。それは、西海岸リゾート開発と一線を画す今後の西原町、ひいては、東海岸の発展のために色を持つことが必要だと考えるからである。「ウェルネス」という方向性を目指すべきだと考えるが町の見解を伺う。

(2) 総合型地域スポーツクラブの現状を伺う。

(3) 観光協会設置の方向で検討していると思うが現在の状況を伺う。

(4) MICE施設周辺のゾーニングの考え方について伺う。

(5) MICE施設周辺の環境整備予定について伺う。(信号、交差点、横断歩道、住民動線)

(6) 観光導線について伺う。(国道 329 号線延伸)

町 長



<p>2. 新たな「文教のまち総合計画」づくりについて</p>	<p>沖縄独特の一括交付金と国から示されている地方創生事業等また町内においては、MICE開発事業を含めた新たな町づくりの推進、5年後、10年後の西原像を具体的に町民と共に創り上げなければなりません。町長だけの行政だけのビジョンではなく、協働する町民と共に改めて創生事業等の総合計画（基本構想・基本計画）の位置づけは大事です。強く要望します。見解を伺いたい。</p>	<p>町長</p>
<p>3. 西原町地域自治活用の活性化について</p>	<p>町内自治会の池田自治会から池田ハイツ自治会として、特色ある自治会活動の充実を目指し分離、独立が相互に協議されているとの事。よりよい地域自治会活動推進のため、よりよい方向を出したいと思います。見解を伺いたい。</p>	
<p>4. 教育問題について</p>	<p>(1) 来年度から町内中学校で使用する教科書選定結果を伺いたい。</p> <p>ア. いつ、どこで、どの様に、どなたが選定作業を行いましたか。</p> <p>イ. 特に社会科の教科書問題が報じられていますが、どのような内容の事ですか。町内使用選定においての見解を伺いたい。</p> <p>(2) 小学校における2学期制度と3学期制度の比較検討について、また他市町村での状況について伺いたい。</p> <p>(3) 小学校でいじめられた経験者が9割、「仲間はずれ・無視・陰口」のいじめ被害が半数と言われ、極めて「いじめの苦」の悲しい事件が続いています。町内、小・中学校の実態、課題、対応等はどの様になっていますか。</p>	<p>教育委員長</p>

<p>5. マイナンバー制度について</p>	<p>(1) 社会保障と税の共通番号（マイナンバー）制度の運用が来年から始まる。多くの町民が不安を持っている。職員が新制度に関する知識を習得する研修も必要だろう。その万全な対応を伺いたい。</p> <p>(2) 情報への不正アクセス、情報漏えいを防ぐ体制を伺いたい。</p> <p>(3) クラウド制利用など考えていますか。どのような内容ですか。</p> <p>(4) 各種証明取得がコンビニでOKになりますか。</p>	<p>町長</p>
<p>6. 琉大医学部等の宜野湾市移転について</p>	<p>琉大医学部等の宜野湾市移転に伴う「跡地利用」への見解を伺いたい。</p>	
<p>7. 18歳選挙権実施に向けての対応について</p>	<p>(1) どのような課題がありますか。</p> <p>(2) 人数の増加は。</p> <p>(3) 実施選挙はいつからですか。</p> <p>(4) 学校現場等での対応は。</p>	<p>選挙管理委員長</p>

質問者	大 城 純 孝 議 員	質問の相手
<p>1. 大型MICE決定後について</p> <p>2. 道路の整備について</p>	<p>本町は大型MICE決定後、この事業をどうとらえて今後取り組むのか伺います。</p> <p>(1) 施設の完成までに周辺隣接地域は何か土地利用を含めて見直す必要があると思う</p> <p>(2) アクセスする道路等はどうか</p> <p>(3) 宿泊施設を誘致する必要があると思うが</p> <p>(1) 兼久仲伊保線の整備進捗の状況は。特に、小波津川から兼久川の間が進んでいないが伺います。</p> <p>(2) 兼久東崎線は現在どのような状況なのか伺います。</p> <p>(3) シンボルロードはどうか。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 地方創生事業について</p>	<p>(1) プレミアム商品券について町内での販売状況は。又、予算的にどうなのか。</p> <p>(2) 取り扱っている店舗等の評価はどうでしょうか。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 町民サービスについて</p>	<p>(1) コミュニティバスを町内で進める考えはないのか伺います。</p> <p>(2) 一括交付金活用の事業の中で隣村ではコミュニティバス、タクシーの事業を実施しています。本町として、共同運行は可能だと思うが、検討出来るか伺います。</p>	<p>町 長</p>

質問者	真 栄 城 哲 議 員	質問の相手
<p>1. 教育環境と実態について</p>	<p>先日文部科学省は、小学6年生と中学3年生を対象に4月に実施した2015年度の全国学力・学習状況調査(以下全国学力テスト)の結果を発表しました。</p> <p>沖縄の公立学校は、小学校が全5科目の平均正答率の合計で全国20位(前回24位)でした。国語Bと算数Aの2科目で全国の平均正答率を上回り、他の3科目も概ね全国平均並みであった。中学校は今年も全科目で最下位であったが、5科目中4科目で前回より差を縮めた結果となりました。</p> <p>(1) 今回の全国学力テストにおける、本町の状況を伺う。</p> <p>ア. 小中学校の結果はどうだったか。</p> <p>イ. 沖縄県全体の傾向と本町の傾向に差異はあるのか。</p> <p>ウ. この結果から今後活かすべき事は、何だと考えるか。</p> <p>(2) 全国学力テストに向けた取り組み方が議論されていますが、現在本町の小中学校では、どの様に取り組みなされているのか伺う。</p> <p>ア. 何年生の何月頃から、どの程度の期間取り組んでいるのか。</p> <p>イ. 取り組んでいる時間帯を伺う。(通常の授業中か、それとも早朝や放課後に行っているのか。)</p> <p>(3) 学校を評価するアンケート調査において特に子ども達について、御父母からの要望等で主なものを伺う。</p>	<p>教育委員長</p>



2. 衛生環境について

最近町内において、カラスの群れをよく見かけるとの情報が多くあります。

沖縄県における農産物の鳥獣被害額は、近年2億円前後で推移している。その被害額の半数がカラスによるものである。又その被害は、果樹類・野菜・畜産飼料・家畜・生活環境と多義にわたり、県もその防除対策に頭を痛めているところである。

(1) これまでに、本町内でのカラス被害報告はあるのか。

(2) 大型MICEを中心とした周辺の整備や農水産物流通・加工・観光拠点施設等などから生まれる、ごみの問題も関連し、これから大きく変わって行こうとする西原町今からしっかりと対策や準備を進めなければならないと考えます。この件について、町の考えを伺う。

町 長

3. 大型MICE周辺開発や観光基盤整備について

6月定例会の一般質問なかで、大型MICE施設の誘致決定に伴い、本町は都市マスタープランの見直しに伴う周辺開発。又、農水産物流通・加工・観光拠点施設等の整備計画等の事業を進めていくには、現行の体制では到底対応が出来ないとのべ、新設課を設置し、大型開発や観光業に精通した人材を登用すべきだとの質問に対し、課の増設や民間からの登用も含め十分に検討していきたいとの答弁でした。

(1) 平成27年度も上半期が終わろうとしています。2017年には、農水産物流通・加工・観光拠点施設又、2020年には大型MICE施設も完成予定であります。時間は多く残されていない中、やるべき事は山積であります。今回の補正予算にも計上された、政策参与については、少し前進が見られたと感じます。その政策参与をどの様に活用していくのかを伺う。

ア. 政策参与は、どの様な立場や権限で、どの様な仕事をするのか。

イ. 政策参与の元には、どれくらい的人员が配置されますか。

町 長

<p>4. 農水産物流通・加工・観光拠点施設について</p>	<p>ウ. 大規模開発や観光業に精通した、民間からの登用は、どうしても必要と考えますが、どの様に進めているのか。</p> <p>基本設計が当初7月に出来上がり、本議会でも具体的に議論されるはずであったと思われる。しかし、その時期が延び依然その中身が具体的に見えてこないのが現状である。</p> <p>(1)現在の状況について伺う。</p> <p>ア. 基本設計が当初予定した7月以降にずれ込んだ理由は何か。</p> <p>イ. 現在進捗は、どうなっているか。</p> <p>ウ. 指摘のあった、予算が膨大過ぎる点について検討されたのか。また、町が施設を建て、指定管理者に無償で引き継がれるという点について具体的に説明を求める。</p>	
<p>質問者</p>	<p>大 城 誠 一 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. マイナンバー(社会保障税番号)制度について</p>	<p>当該制度については、今年10月5日から開始され、個人番号が記載された通知カードが、住民票のせたいごとによりまとめて配達されることになる。最近、年金個人情報外部に流出して、国民に大きな不安を与えている。同様にマイナンバーが他人に漏れることにより、悪用されるおそれはないか心配する町民がいる。</p> <p>(1) そこでマイナンバー制度について町民の理解を深めるために説明会を行ってはどうか。</p> <p>(2) またDV、ストーカー行為、児童虐待等の被害者で住所地以外の居所に移動している方については、「居所情報登録申請」を行い、申請が認められれば申請した居所でマイナンバーを受け取れるとあるが周知はどのように行うのか。</p>	<p>町 長</p>

<p>2. 西原町防災対策について</p>	<p>(3) 居所情報登録の申請を失念したこと等により通知カードが住民票の住所に発送された場合の救済処置はあるのか。</p> <p>平成 23 年 3 月 11 日におきた東日本大震災を教訓に、西原町においても町民や地域、こどもたちの防災意識を高めるため、平成 24 年 2 月 15 日には西原町総合防災訓練を実施、同年 3 月 11 日には西原町防災フォーラムをしている。また町内小中学校では地震や津波を想定した避難訓練を毎年実施している。去った 9 月 5 日には県と中部 10 町村合同で、沖縄本島東方 100 キロを震源とする震度 6 弱の地震と津波が発生したことを想定する県総合防災訓練を実施したとの報道がある。</p> <p>西原町地域防災計画に総合防災訓練の実施については、防災関係者及び地域住民に災害時の心構えと防災活動を習得させるとともに、関係機関の協力体制の確立を図るものとする。実施時期については毎年 4 月～10 月の適当な時期とある。</p> <p>(1) 今年度の実施概要について説明を求める。</p> <p>(2) 新聞報道で災害時要支援者名簿の有無について調査結果の掲載があり、個別計画の作成を終えているとあり、要支援者数は 101 人とある。他市町村に比較して少ないのでは。説明を求める。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 自動車臨時運行許可業務について</p>	<p>本業務は未登録自動車や車検切れ自動車を運行するために臨時運行許可証（仮ナンバー）の交付を行う業務である。現在町内の自動車整備業者等は南風原町や浦添市において交付を受けて未登録自動車の運行を行っている。しかし、両市町で交付を受けるに当たり移動距離が長い時間がかかることや臨時運行許可書の枚数が不足気味で交付を受けられない場合がある等、不便を困っている。</p> <p>ついては、西原町においても当該業務を実施してほしいとの要望がある。その業務の実施について検討すべきと考えるが町当局の見解は。</p>	<p>町 長</p>

<p>4. 学校給食用物資の安全性について</p>	<p>福島第一原発事故に起因する学校給食用物資の取り扱いについては、沖縄県学校給食会から平成23年9月21日に「福島第一原発事故に起因する学校給食用取扱物資の安全性に関する考え方」で示されている。</p> <p>(1) 平成27年度の基本物資（小麦粉・米・牛乳・パン）調達先並びに放射能に関する安全性確認について説明を求める。</p> <p>(2) 平成27年度一般物資（おかず用食品）調達先並びに放射能に関する安全性確認について説明を求める。</p> <p>(3) 平成27年度の給食用物資を放射能権対象地域（17都県）から仕入れた実績はあるか。</p>	<p>教育委員長</p>
<p>質問者</p>	<p>大城好弘 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 人口推計とまちづくり</p>	<p>沖縄県は国勢調査に基づき、各市町村の将来の人口数の増減予測推計を発表されておりますが、本町の人口数はマイナスで現状の35,000から33,500人になるとの推計となっている。人口数の増加に取り組むまちづくりが重要な課題と思うがその対応策について伺う。</p> <p>(1) 平成16年～平成25年の10年間の人口数の推移について。</p> <p>(2) 本町の都市計画土地利用計画は人口数4万人の推計に基づき計画されたが、殆ど人口数は伸びない。計画変更が行われている現状についてその要因分析について伺う。</p> <p>(3) 本町の周辺の中城村、与那原町、南風原町への人口数の移動流出について。</p> <p>(4) 人口数の増減は行政力との関連が大きく、特に首長(町長)の政策が決定づける。土地利用計画について見解を求める。</p>	<p>町長</p>

2. 農業振興について	<p>(1) 直売所歴史資料館複合施設について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 直売所の建設費、内容について</li> <li>2. 歴史資料館の建設費、内容について</li> <li>3. 農産物売場について、特に制限品があるのか</li> <li>4. 個人農家からの農産物の搬入量について</li> <li>5. 加工場の製造品目、種類等について</li> <li>6. レストランは普通、市販店と同様に運営可能か</li> <li>7. 当該施設の管理運営について <ol style="list-style-type: none"> <li>イ. 指定管理先について</li> <li>ロ. 指定管理料についての見込み額</li> <li>ハ. 開閉の時間について</li> </ol> </li> <li>8. 年間売上げ額について見込額 <ol style="list-style-type: none"> <li>イ. 日客数、1人当りの単価</li> <li>ロ. 町内客数と外来客数の見込み</li> </ol> </li> </ol>	町 長
質 問 者	喜 納 昌 盛 議 員	質問の相手
1. 町政全般について	<p>(1) 上原棚原地区土地区画整理事業の換地計画の進捗状況は。県との認識の相違の解消、再度の換地・事業計画の縦覧及び再申請の目途は、立っているのか。</p> <p>(2) 県道 29 号線（那覇北中城線）の翁長上原線の拡幅工事の進捗状況は。 事業の開始から 7 年、工事着工から 5 年程が経過しているが、今後の県の計画はどうなっているのか。又、町は、中城村南上原との境界からの土地の用途見直し等の計画は検討する考えは。</p> <p>(3) 膠着状態にある広域火葬場建設の見通しについて。又、西原町として今後どう対処していく考えか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

	<p>(4) 今年は、西原まつり開催の年。2年前は台風で中止となったが、今年度は所謂、一括交付金事業となっている。特別な計画もあるのか。いづれにしても今年は金丸生誕600年、MICEの建設決定と全町民で祝う祭と意義付けて、盛大に開催されることを願うが、当局の意気込みの程は。</p>	町 長
質 問 者	伊 計 裕 子 議 員	質問の相手
1. 道路の隅切り要請について	<p>役場東側駐車場より出てバス通りに入る際に危険だと町民からの声が寄せられ、せめて左側も隅切りにしてもらえば危険は和らぐとのこと。早急な対応で町民の不安に応えていただきたい。</p>	町 長
2. 国民共通番号(マイナンバー)制度について	<p>10月から通知カードが送られてくることになっているマイナンバー制度について以下の点を伺いたい。</p> <p>(1) 住民への周知徹底</p> <p>(2) 町内企業の対応状況(役場自身も含めて)</p> <p>(3) 10月の通知カード発行直前に住所の異動があった際、異動者全員の通知カードを書き直すことになるのかどうか、またそれは可能なのかどうか。</p> <p>(4) 住民登録関係の部署だけでなく、各職場の業務がどのように変わるのか等役場内の関連業務が明らかにされているのかどうか。</p>	町 長
3. 国民健康保険制度について	<p>そもそも国保制度は、社会保障制度として、国が財政や運営に責任を負う制度である。しかし、実際には、市町村が担っていることから厳しい財政の中から自治体の独自負担を行っている。こうした実態の中で、多くの市町村が国保の都道府県単位化に対して期待を表しているようだが、「期待外れ」といえるものである。それは、国保の財源は補完する公助である国費負担の伸びを抑制しながら、加入者からの保険料収入で賄うことを基本とし、保険給付はその財源の範囲内に留める、そのための仕組みとして都道府</p>	町 長

<p>4. 文科省より4月30日に出された通知について</p>	<p>県単位化が考えられているからである。そこで現状について伺う。</p> <p>(1) 4月改定により保険料が高くなったことによる滞納者はどのくらいの割合で増えたのか。短期保険証発行者数はどうなっているか。</p> <p>(2) 受診控えによる重症化や手遅れの声が聞こえるが、その状況把握はどうなっているか。</p> <p>(3) これらの町民に対しての対応はどのようになっているか。</p> <p>4月30日に文科省より「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施について」という通知が出されている。町立小中学校での対応について伺う。また、LGBTについては那覇市では条例が可決されたが、西原町としての考えを伺う。</p>	<p>教育委員長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>前 里 光 信 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 町政について</p>	<p>(1) MICEの関連もあり、西原町の土地利用を抜本的に見直しをする必要があると思いますが、当局の計画はどうなっているか。また、国道周辺に高層ビルの建設が可能な方向で取り組んでいくことについてもどのような考えを持っているか伺います。</p> <p>(2) 日本の男性は80.50歳、女性は86.83歳で世界一の長寿国となっている。ところで沖縄県は全国1位だったが、順位は下がった。西原町の場合どのようなになっているか。質問します。</p> <p>(3) 人間ドック等、特定検診の結果を役場が長い間持ち込まないで、もっと早く本人に伝える方策はないか。</p> <p>(4) 西原町内の医療サービス状況はどのようになっているかお聞きします。例えば病院、医院等の数がどれだけの数があり、また診療科目についても十分なものがあるか。高齢化社会になり、病院での入院及び通院者が多くなって</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

2. 教育行政について	<p>きていると思うが、町民のニーズを満たしているか。また、町民調査を実施したことがあるか。</p> <p>(5) 町内の老人ホームは実際にはいくつの施設があり、その活用状況はどうなっているか。今後、増やすことも必要になって来ると思うが、その対策はどうなっているか。</p> <p>(6) 認知症は若年でもかかると思うが、町内には認知症と診断された者はどれだけの数がいるか。また、その対応はどうなっているか。</p> <p>(7) 町の業務となったパスポートの発行状況は、どのようになっているか。</p> <p>(1) 全国的に、中・高校生の自殺が増えていて、特に9月1日前後に最も多いとのことですが、その対策はありますか。</p> <p>(2) ネイティブスピーカーに依る小・中学校における英語教育はうまくいっていますか。</p> <p>(3) 西原東小学校でラグビーで起きた事故の当人の治療及び学校における教育（授業）は、今どのようになっていますか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>教育委員長</p> <p>教育委員長</p> <p>教育委員長</p>
質 問 者	伊 波 時 男 議 員	質問の相手
1. 将来のまちづくりについて	<p>(1) 西原町全体のまちづくりにおける、ランドデザインを町長はどのように考えていますか。見解を伺う。</p> <p>イ) 西原町の核となる中心市街地と又、サブ核の位置づけと将来のまちづくりの構想は。</p> <p>ロ) 大型マيسが立地する周辺商業地域の構想は。</p> <p>ハ) 県道29号線、県道浦添・西原線両県道の拡幅工事完了後における商業地域の位置づけと場所と範囲はどのように考えていますか。</p>	町 長



	<p>(2) 琉球大学医学部・附属病院は西普天間住宅跡地に移転の為に1億円の予算措置され移転が確実に成り、跡地利用をどのように考えていますか。見解は。</p>	
<p>2. 環境行政について</p>	<p>(1) 東部清掃施設において、南城市、八重瀬町が加入したことで焼却の状況はどのように変化しましたか。</p> <p>(2) 将来、大型マイス立地と周辺にホテル等が予定されるが、東部清掃施設の今後の取組みは。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 文化財行政について</p>	<p>(1) 西原町における国・県・町指定・無指定も含む文化財等の調査の進捗状況は。</p>	<p>教育委員長</p>
<p>4. 財産管理について</p>	<p>(1) 沖縄県は所有者不明地が98ヘクタール存在すると発表されましたが</p> <p>イ) 町内には存在するか、又、面積は確認されていますか。</p> <p>ロ) 今後、どのような処置がとられるか。見解は。</p>	<p>町 長</p>
<p>5. 土木行政について</p>	<p>(1) 町道において、植栽柵等に雑草が生い茂り、歩行者より苦言があるが、年間の除草作業計画と実施状況は。</p>	

質問者	長 浜 ひ ろ み 議 員	質問の相手
1. マイナンバー制度について	<p>(1) マイナンバー制度関連の予算について</p> <p>(2) マイナンバー制度の導入スケジュールについて</p> <p>(3) 制度の導入準備及び推進の取り組みについて</p> <p>(4) 必要な場面は</p> <p>(5) きちんと活用することは</p> <p>(6) 制度とシステムの両面で個人情報の保護対策は</p> <p>(7) やむを得ない理由により住民票の住所地で通知カードを受け取れない人への対応は</p> <p>(8) 町民への周知は</p>	町 長
2. 防災について	<p>(1) 「防災週間」や「防災の日」を踏まえ、本町の対策や想定外を想定した対応は。</p>	
3. 学校教育について	<p>(1) 本町での小・中学校での不登校生徒の実態把握とその対策は</p> <p>(2) 問題行動・非行対策について</p> <p>(3) 文部科学省は全国の教育委員会へいじめの調査を実施したが本町の実情を伺う。</p> <p>(4) 全国学力テストで本町の小中学校の結果をお聞きします。</p>	教 育 長
4. 高齢者福祉について	<p>(1) 老後の安心を支えるための介護基盤を、どう整備するかが問われています。本町の介護予防計画を問う。</p>	町 長

	<p>(2) 認知症の方が今まで通りに安心して暮らしていくために取り組むことについて</p> <p>(3) 一人暮らしの高齢者の買い物等の支援について</p>	
質問者	屋比久満議員	質問の相手
1. 教育行政について	<p>文科科学省は、去った8月25日、小学6年生と中学3年生を対象に4月に実施した、全国学力・学習状況調査(学力テスト)の結果を公表しました。</p> <p>県内の小学校では全教科(国語、算数、理科)を合わせた総合の平均正答率は、全国で20位で、昨年の24位から上昇した。中でも国語Bと算数Aは全国平均を上回ったが、中学校は全教科で最下位であったとの新聞報道がありました。上昇した背景には、子ども達の努力はもちろん、先生方や行政の指導のお陰だと思えます。</p> <p>(1) 本町の小学校の平均正答率は、県の平均と全国の平均に比べて、全教科の平均正答率はどうか。</p> <p>(2) 本町の中学校の平均正答率は、県平均と全国平均正答率は、どうか。</p> <p>(3) 全国学力テストで行った質問調査で、小学校、中学校とも新聞をよく読む児童生徒の平均正答率は、読まない児童生徒より高い傾向であるとの報道があったが、1位の秋田県では、学校で新聞を使った授業を実践しているそうですが、本町では、新聞を使った授業を全学校で実践しているのか。</p> <p>(4) ある学習塾の代表者が、小学校の20位に上昇したのは「学校現場の努力の成果である」と称えたが、中学校が最下位を脱出できないのは、部活動が過剰で勉強する時間が確保できないことに一因があるのでは。と書かれていましたが、教育長はどう思われますか。一因があるとしたら、どう対処するのか。</p>	<p>教育委員長</p> <p>教育委員長</p> <p>教育委員長</p> <p>教育委員長</p>

	<p>(5) 町長は「一般社団法人教育振興会」をご存じだと思いますが、この教育振興会では、事業内容が①から⑧までありますが、どの内容も素晴らしいのですが、特に⑥の生活困窮者・非課税世帯への学習支援及び受験指導があります。私の資料では、お隣の中城村では、平成25年度「ごさまる学力パワーアップ事業受託業務」、次年度の平成26年度も「ごさまる学力パワーアップ事業受託業務」を2年間実践しているが、手元の資料では、本町での実績は無いのですが、今後、児童生徒の学力底上げのために、このような事業を導入する考えはあるのか。</p>	<p>教育委員長</p>
<p>2. プレミアム商品券について</p>	<p>西原町プレミアム商品券（総額1億8千万円）の販売について</p> <p>(1) 8月末現在、販売状況について</p> <p>(2) 商品券が2次募集で残った場合、国へ返却するのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 環境整備について</p>	<p>6月議会で一般質問した「(仮称)天界庵・西原霊園」の工事が始まっているが、反対者に対して、工事の概況説明は十分に行ったのか。</p>	<p>町 長</p>